



一般社団法人沖繩伝統空手道振興会 中期経営計画

(期間：令和6年度～令和9年度)

令和6年9月

目次

1. 中期経営計画（2024年度～2027年度）策定の趣旨	1
2. 経営の現状と課題	2
3. 経営のミッション	3
4. 経営の取組方針	5
5. 中期経営計画の取組と目標	6
6. 活動計画	8
7. 評価・検証	9

1. 中期経営計画（2024年度～2027年度）策定の趣旨

背景と目的

- ①沖縄空手の振興については、2018年3月に20年後の目指すべき将来像を描いた「沖縄空手振興ビジョン」（以下「ビジョン」という。）が策定された。
- ②ビジョンで描いた将来像の実現に向けては、その具体的な工程等となる「沖縄空手振興ビジョンロードマップ」（以下「ロードマップ」という。）を策定し、各種施策を計画的かつ能率的に推進することとしている。
- ③ビジョン及びロードマップで策定する施策については、空手関係者をはじめ、県及び経済界等が連携を図りながら施策取組を推進することが求められる。
- ④施策取組を推進するためには、中心的役割を担う一般社団法人沖縄伝統空手道振興会（以下「振興会」という。）の経営基盤も合わせて強化していく必要がある。施策の推進と振興会の更なる発展に向けた事業の展開を図るため、2024年度から2027年度までの4年間を対象とした中期経営計画を策定する。

【直近の主な経緯】

	沖縄空手振興ビジョン等	振興会事務局体制
2017年度 (平成29年度)	沖縄空手振興ビジョン策定(2018年3月)	
2018年度 (平成30年度)	第1期ロードマップ策定(2019年3月)	
2019年度 (令和元年度)		
2020年度 (令和2年度)		沖縄伝統空手道振興会の法人化(令和3年3月)
2021年度 (令和3年度)		沖縄空手主要4団体加盟
2022年度 (令和4年度)	第2期ロードマップ策定(2022年3月)	振興会事務局体制の強化 ・職員6名配置(うち県派遣2名) ・事業展開(県受託5事業、補助1事業)
2023年度 (令和5年度)		振興会事務局体制の強化 ・振興会職員12名配置(うち県派遣2名) ・事業展開(県受託7事業、補助1事業)

2. 経営の現状と課題

現状と課題

- ①現在の振興会の主な収益は、県からの受託事業の収益となっている。
- ②令和5年度までの収支において、財産は増加しているが、令和3年に法人化された振興会においては、経営基盤の構築は緒に就いたばかりであり、今後、組織の運営に係る経費の増加が見込まれている。このため自主事業の創出などによる安定的な財政基盤の確保が課題となっている。
- ③加えて、沖縄空手を正しく保存・継承すること等を目的とする「沖縄空手世界大会」の定期開催体制の構築に向けて、振興会が担う重要な役割として、審判員の育成（講習会の開催、公認審判員制度の確立）を自主財源のもと主体的に取り組むことが求められている。

1. 職員数

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年度	2021年度	2022年度	2023年度
契約職員（受託事業担当等）	3	4	10
県派遣職員	0	2	2
合計	3	6	12



○事業及び人員の拡大が進められている。

2. 収支

	令和3年度	令和4年度	令和5年度
年度	2021年度	2022年度	2023年度
経常収益	12,206,428	64,438,053	79,178,793
（うち会費）	(300,000)	(500,000)	(400,000)
（うち県受託事業収益）	(11,102,500)	(62,015,821)	(72,744,114)
（うち振興会独自事業収益）	(738,085)	(667,160)	(1,249,915)
経常費用	12,148,745	61,624,782	78,845,034
当期一般正味財産増減額	57,683	2,156,771	224,359
一般正味財産期首残高	2,413,315	2,470,998	4,627,769
一般正味財産期末残高	2,470,998	4,627,769	4,852,128



○県からの事業委託による財政支出に依存。

○正味財産は黒字となっているものの、経営拡大に伴い、今後、受託事業では賄うことができない運営に係る経費（職員の福利厚生。財務等システム導入。社用車リース。HP管理及び電話導入等の通信費。税理士等外部委託報酬。）などの支出増額が見込まれる。

○世界大会開催に係る自主事業の展開が必要。

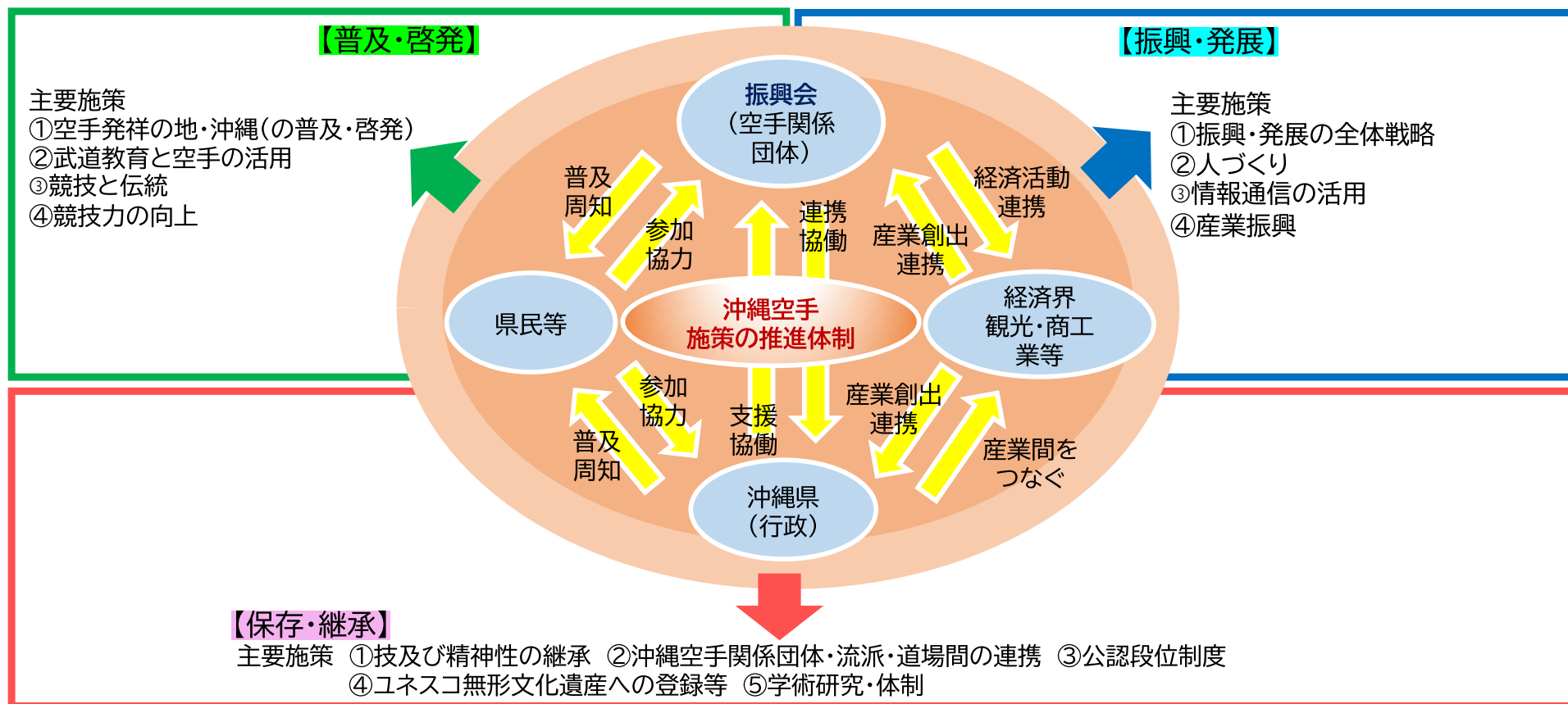
3. 経営のミッション

振興会に求められる役割

沖縄空手振興ビジョン及び第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップで描く沖縄空手の将来像の実現に向けて、中心的役割を担う振興会には、

- ①持続的に沖縄空手の振興施策を推進すること。振興会の成長が沖縄空手界の発展に貢献すること
- ②多様な人々・分野と連携して社会経済活動へ積極的に参画することが求められる。

【沖縄空手振興ビジョン及び第2期ロードマップの施策と推進体制】



【第2期沖縄空手振興ビジョンロードマップ施策】

主要施策			実施主体			主要施策			実施主体		
1 保存・継承	①技及び精神性の継承	ア 道場の運営基盤強化支援	空手関係団体 県(空手振興課)	3 振興・発展	①振興・発展の全体戦略	ア ロールモデルの策定	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				
		イ 指導者及び後継者の育成	空手関係団体 県(空手振興課)			イ 空手のコンテンツを活用した取組	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				
	②沖縄空手関係団体・流派・道場間の連携	ア 振興会の組織運営基盤の強化	空手関係団体 県(空手振興課)			ウ 国外及び県内外での沖縄空手の披露(再掲)	県(空手振興課) 空手関係団体				
		イ 流派・道場間の連携促進	空手関係団体 県(空手振興課)			エ 国外及び県内外での沖縄空手セミナーの開催(再掲)	県(空手振興課) 空手関係団体				
		ウ 道場の運営基盤強化支援(再掲)	空手関係団体 県(空手振興課)			オ 強力な事務局体制の構築	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				
		エ 国内外の空手愛好家への適切な指導料金体系の設定	空手関係団体 県(空手振興課)			②人づくり	ア 産官学連携による空手を活用した人づくりの体系化	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)			
	③公認段位制度	ア 公認段位制度の創設	空手関係団体 県(空手振興課)		イ 空手を軸としたマーケティング戦略の構築		空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				
		ア 県指定無形文化財保持者の追加認定	県(教育庁文化財課)		ウ エンターテインメント作品の制作による人材育成		空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				
	④ユネスコ無形文化遺産への登録等	イ ユネスコ無形文化遺産登録に向けた取組の推進	県(空手振興課) 空手関係団体等		エ 来訪する外国人に向けた空手の普及活動の推進	空手関係団体 関係機関					
		⑤学術研究・体制	ア 沖縄空手会館の博物館相当施設としての活動の充実		県(空手振興課)	③情報通信の活用	ア 空手に関するアプリの活用及び機能強化	IT関係機関、空手関係団体、県(空手振興課)			
	イ 高等教育機関と連携した研究活動		県(空手振興課)		ア 空手ツーリズムの推進		観光関係機関、空手関係団体、県(空手振興課)				
	2 普及・啓発	①空手発祥の地・沖縄	ア 国外及び県内外での沖縄空手の披露		空手関係団体 県(空手振興課)	④産業振興	イ 平和と伝統文化を学び体験できる観光地としての拠点形成	空手関係団体、県(空手振興課)、ものづくり振興課、市町村、指定管理者、観光関係機関			
イ 国外及び県内外での沖縄空手セミナーの開催			空手関係団体 県(空手振興課)	ウ ライセンシングによる権利保護と活用	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)						
ウ 各国への沖縄空手支部の設立及び沖縄空手大使の設置			空手関係団体 県(空手振興課)	エ ロールモデルの策定(再掲)	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)						
エ ギネス記録更新に向けた「空手の日」と「ウチナーンチ」大会との連携等			空手関係団体 県(空手振興課)	オ 空手家の生活基盤の安定化に向けた金融を含む多様な支援策の検討	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)						
②武道教育と空手の活用		ア 教育関係機関との連携による小・中・高等学校での集団演武等	空手関係団体、県(教育庁保健体育課・空手振興課)、市町村	4 振興・発展	①振興・発展の全体戦略		ア ロールモデルの策定	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)			
		イ 保育園等での普及	空手関係団体、県(空手振興課)、市町村				イ 空手のコンテンツを活用した取組	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)			
		ウ 来沖した海外空手家と子どもの交流の場の創出	空手関係団体 県(空手振興課)			ウ 国外及び県内外での沖縄空手の披露(再掲)	県(空手振興課) 空手関係団体				
		エ 新たな魅力の発信	空手関係団体、県(空手振興課)、市町村			エ 国外及び県内外での沖縄空手セミナーの開催(再掲)	県(空手振興課) 空手関係団体				
③競技と伝統		ア 世界で実施されている空手大会やセミナー等の県内誘致	空手関係団体 県(スポーツ振興課)			オ 強力な事務局体制の構築	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				
		イ 沖縄空手世界大会の定期開催	空手関係団体 県(空手振興課)			②人づくり	ア 産官学連携による空手を活用した人づくりの体系化	空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)			
		ウ 沖縄空手案内センターの機能強化と受け皿となる道場の運営基盤の強化	空手関係団体 県(空手振興課)		イ 空手を軸としたマーケティング戦略の構築		空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				
④競技力の強化		ア 国内外での競技力向上	空手関係団体 県(スポーツ振興課)		ウ エンターテインメント作品の制作による人材育成		空手関係団体、関係機関、県(空手振興課)				

4. 経営の取組方針

取組方針等

- ①経営の課題と振興会に求められる役割を踏まえ、中長期計画の取り組み方針等を下記のとおりとする。
- ②持続的に沖縄空手の振興施策を推進するためには、振興会が安定的な財政基盤の確保のもと取組を推進する必要がある、『人材基盤の構築』とともに、『財務基盤の強化』に取り組むことを方針とする。
取組としては、「振興会事業を担う人材の確保と振興会収益のコア事業の確立」を目指す。
- ③多様な人々・分野と連携した社会経済活動への積極的な参画に向けては、相互理解を深めるため、『情報の整理、共有』する取り組み方針とし、「沖縄空手の窓口としての情報発信力の強化」に取り組む。

求められる役割（経営のミッション）

- 【持続的発展】 持続的に沖縄空手の振興施策を推進すること。振興会の成長が沖縄空手界の発展に貢献すること。
- 【連携・協働】 多様な人々・分野と連携して社会経済活動へ積極的に参画すること。

中期計画の取組方針（2024年度～2027年度）

方針1 人材基盤の構築

方針2 財務基盤の強化

方針3 情報の整理、共有

取組1：振興会事業を担う人材の確保と振興会収益のコア事業の確立

取組2：沖縄空手の窓口としての情報発信力の強化

5. 中期経営計画の取組と目標

取組1. 振興会活動を担う人材の確保と振興会収益のコア事業の確立

- ① 県等と連携して今後も継続的に事業を推進するとともに、独自事業による収益拡大を図る。
- ② また、空手界に更なる貢献ができる事業展開にむけて、振興会事業を担う人材の確保（ヒト）・沖縄空手会館運営と連携した事業展開体制の構築（ハコ）・振興会独自の収益事業の展開（モノ）の三位一体とした経営展開を図る。

【取組と目標】

令和6年度～令和9年度

県等との連携

① 受託事業・補助事業の確保と推進

【活動計画：事業規模の維持】

振興会独自事業

② 沖縄空手プログラム

- ・ 空手演武鑑賞プログラム
- ・ 空手体験プログラム

【活動計画：プログラム実施：毎月1件以上】

③ 沖縄空手会館指定管理への参画検討

【活動計画：検討・準備委員会の設置、公募参加】

④ その他独自事業の検討

【活動計画：加盟道場等に有益な独自事業の構築】

⑤ 世界大会審判員育成（講習会開催、公認審判員制度）

【活動計画：R6年度 検討委員会の設置・制度策定、R7年度 実施】

⑥ ライセンスビジネス（シンボルマーク等活用）

【活動計画：ライセンスを活用した商品数：毎年1商品以上】

【活動計画：県等事業及び独自事業を展開する専任職員を持続的に配置
（現状規模の維持）】

目標

【経営】

- 独自事業の拡大
- 沖縄空手会館運営参画
- 世界大会の定期開催の継続
- ヒト・ハコ・モノの三位一体とした経営展開により、収益が黒字化する経営体制の確立

【社会的な貢献】

- 沖縄空手振興ビジョンの着実な推進

振興会事業を担う人材の確保

沖縄空手会館
運営と連携
した事業展開

取組2：沖縄空手の窓口としての情報発信の強化

- ①振興会において、加盟団体・道場と連携し、沖縄空手の歴史・伝統・精神性や、空手イベント及び施策取組に関する情報発信を強化する。また、沖縄空手を通じた交流人口の増加に資する空手ツーリズムについて、旅行事業者等と連携して旅行商品の情報を発信する。これらにより、幅広い層に沖縄空手の文化的価値や魅力の理解を促す。
- ②沖縄空手案内センターにおいては、引き続き、県内外・海外の空手愛好家と沖縄の空手道場をつなぐプラットフォームの整備を進める。

【取組と目標】

令和6年度～令和9年度

沖縄伝統空手道振興会

①沖縄空手の窓口となる振興会HP等の充実
加盟団体と連携した情報発信体制の整備
【活動計画：振興会HP等の更新及び適宜の見直し】

②旅行事業者等と連携したツーリズム情報発信
【活動計画：ウェブページ更新及び適宜の見直し、旅行事業者の商品開発支援】

③普及・周知活動の強化（キャラクターの活用等）
【活動計画：空手関係イベント等への参加、キャラクター商品開発】

沖縄空手案内センター

④県内外・海外の空手愛好家と沖縄の空手道場をつなぐ
プラットフォームの整備
【活動計画：空手NAVI登録道場の更新及び適宜の見直し】

目標

【経営】

- 周知促進し相互理解を深めることで、多様な分野との連携・協働取り組みを構築
- 振興会の経営活動を通して、空手に関わる人口を増やし、沖縄空手の発展に繋げる

【社会的な貢献】

- 沖縄空手の価値共有の促進
- 空手関連産業の振興

6. 活動計画

人員配置	契約職員	10名	現状維持（専門的なスキルを持つ人材確保を継続）	現状維持（専門的なスキルを持つ人材確保を継続）	現状維持（専門的なスキルを持つ人材確保を継続）	現状維持（専門的なスキルを持つ人材確保を継続）	
	県派遣職員	2名	適宜県と調整	適宜県と調整	適宜県と調整	適宜県と調整	
事業実施	受託事業・補助事業	(1)県受託等事業	7件（72,744千円）	現状規模を維持	現状規模を維持	現状規模を維持	現状規模を維持
		(2)その他公募事業獲得	-	準備・調整	1件以上/年	1件以上/年	1件以上/年
		(3)空手会館指定管理	-	準備・調整	準備・調整・公募参加	指定管理	指定管理
	独自事業	(1)ライセンスビジネス	3件	1件以上/年	1件以上/年	1件以上/年	1件以上/年
		(2)沖縄空手プログラム（演武・セミナー）	13件	12件以上/年	12件以上/年	12件以上/年	12件以上/年
		(3)世界大会審判員育成	-	審判講習・公認制度構築	審判講習・公認審判員登録	第3回沖縄空手世界大会	審判講習
		(4)その他独自事業	-	振興会・加盟団体及び道場の利益につながる事業の検討・実施	振興会・加盟団体及び道場の利益につながる事業の検討・実施	振興会・加盟団体及び道場の利益につながる事業の検討・実施	振興会・加盟団体及び道場の利益につながる事業の検討・実施
情報発信	振興会	(1)振興会HP等充実	HP管理及びHPプラットフォーム見直し、Facebook開設	振興会HP等の更新及び適宜の見直し	振興会HP等の更新及び適宜の見直し	振興会HP等の更新及び適宜の見直し	振興会HP等の更新及び適宜の見直し
		(2)旅行事業者等と連携したツーリズム情報発信	沖縄空手ツーリズムウェブページ開設	・沖縄空手ツーリズムウェブページ更新及び適宜の見直し ・旅行事業者の商品開発支援	・沖縄空手ツーリズムウェブページ更新及び適宜の見直し ・旅行事業者の商品開発支援	・沖縄空手ツーリズムウェブページ更新及び適宜の見直し ・旅行事業者の商品開発支援	・沖縄空手ツーリズムウェブページ更新及び適宜の見直し ・旅行事業者の商品開発支援
		(3)普及・周知活動の強化（キャラクターの活用等）	キャラクター決定 着ぐるみ制作	・空手関係イベント等への参加 ・キャラクター商品開発	・空手関係イベント等への参加 ・キャラクター商品開発	・空手関係イベント等への参加 ・キャラクター商品開発	・空手関係イベント等への参加 ・キャラクター商品開発
	案内センター	(4)県内外・海外の空手愛好家と沖縄の空手道場をつなぐプラットフォームの整備	空手NAVI登録道場の更新	空手NAVI登録道場の更新及び適宜の見直し	空手NAVI登録道場の更新及び適宜の見直し	空手NAVI登録道場の更新及び適宜の見直し	空手NAVI登録道場の更新及び適宜の見直し

7. 評価・検証

評価・検証

○計画の進捗管理を評価・検証する。なお、振興会を取り巻く社会経済状況の変化も踏まえながら、計画期間中に取組内容、目標など内容の見直しが必要となった場合には、適宜、見直しを行うものとする。

